

あとがき

2月というのは新年が始まって1か月たったと同時に、1か月後には年度末を迎えるという微妙な時期で、先生方には何かとお忙しいことと存じます。少し旧聞に属しますが、昨年2007年の世相を表す漢字として「偽」が選ばれ、揮毫した京都・清水寺の森清範貫主が嘆かれたという記事がありました。確かに「耐震偽装」から始まり、「製造日偽装」「賞味期限偽装」「産地偽装」そして防衛省元次官の「偽証」まで、昨年は一体何がホンモノなのかと暗澹たる気持ちになったものです。しかし医学の世界でも、研究論文の「捏造」騒ぎが相次ぎ、学術雑誌の編集に携わる者として「偽」の問題は決して他人事ではありません。気が早いとお叱りを受けそうですが、今年2008年の世相を表す漢字はどうなるのか、これからが楽しみです。

昨今政治も経済も医療の世界も混沌とし、あちこちで「制度疲労」あるいは「システム崩壊」の兆しが見えてきているように思います。このような混乱や崩壊をきたしている要因には多くのものがあるでしょうが、その1つに「フラット化」というものを挙げたいと思います。フラット化とは、社会や組織の構造、サービスや情報の入手・提供など社会活動のあらゆる面で、従来あった階層（ヒエラルヒー）や障壁（バリア）が消失していくということです。その結果、さまざまな財や情報が良くも悪くも自由奔放に動き回ることになります。世界の「フラット化」の急速な進展に、インターネットの爆発的な普及と、東西冷戦構造の終息が大きな役割を果たしたことはいうまでもありません。最近のわが国の混迷も、急激に進む社会のフラット化と、それに対応できていない旧制度との軋轢が深層にあるのではないのでしょうか。

「情報のフラット化」では、情報へのアクセスはいうまでもなく、情報発信もきわめて容易になります。「新聞」「書籍」「雑誌」「テレビ」などのマスメディアはいうまでもなく、本誌などの「学術誌」も今後大きな影響を受けることは必至と思われるかもしれませんが、いかがでしょうか。

（水流忠彦）

編集顧問	宇山昌延	清水弘一	玉井 信	塚原 勇	馬嶋昭生	増田寛次郎	三宅養三
編集委員	大野重昭	水流忠彦	寺崎浩子	中澤 満	西田輝夫	根木 昭	（五十音順）

臨床眼科（第62巻 第2号）

2008年2月15日発行（毎月1回15日発行）

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5%）

（2008 年年ぎめ予約購読料 41,660 円
増刊号を含む 13 冊，税込・送料弊社負担）

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 医学書院ホームページ（インターネット）は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。「臨床眼科」のページにて最新号の目次、バックナンバーを直接閲覧頂けます。Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringan/>
- ・ JCLIS<㈱日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱日本著作出版権管理システム（03-3817-5670）の許諾を得てください。

担当 能藤・風間・中田